



2026年6月22日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマト
代表者名 代表取締役社長執行役員 CEO 町田 豊
(コード番号：1967 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役常務執行役員管理本部長 藤井政宏
(TEL.：027-290-1800)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社取締役会は、取締役会全体の実効性を高め、企業価値の向上を図ることを目的とし、取締役会全体の実効性に関する分析・評価を行い、その結果の概要を開示することとしています。

なお、必要に応じその集計・分析については外部機関に委託しております。

2026年3月期の取締役会の実効性に関する評価結果の概要は下記のとおりであります。

記

1. 評価の実施方法

取締役会評価においては、以下の事項を内容とするアンケートをすべての取締役、監査役に実施し、その回答を得ました。

対象者 : 取締役 10 名 (うち社外 3 名)、監査役 3 名 (うち社外 2 名) 合計 13 名

対象期間 : 2026 年 3 月期

実施期間 : 2026 年 3 月 19 日～4 月 3 日

手 法 : 外部専門家に委託してアンケートを実施する第三者関与の自己評価方式

アンケート : 5 段階評価と自由記述式回答 14 区分 (31 項目)

区分概要 :

- ①取締役会の在り方
- ②取締役会の構成
- ③取締役会の運営
- ④経営戦略・経営計画
- ⑤内部統制・リスク管理
- ⑥指名・報酬
- ⑦社内取締役のパフォーマンス
- ⑧社外取締役のパフォーマンス
- ⑨取締役・監査役に対する支援体制
- ⑩トレーニング

- ⑪株主（投資家）との対話
- ⑫ご自身の取組み
- ⑬指名委員会・報酬委員会の評価
- ⑭総括

2. 評価結果の概要

評価結果の概要については、次のとおりであります。

(1) 当社取締役会は、取締役会の在り方、取締役会の構成、取締役会の運営、経営戦略・経営計画、内部統制・リスク管理、指名・報酬、社内取締役のパフォーマンス、社外取締役のパフォーマンス、取締役・監査役に対する支援体制、トレーニング、株主（投資家）との対話、ご自身の取組み、指名委員会・報酬委員会の評価、総括の各アンケート内容について、概ね取締役会の実効性が確保できている評価となりました。

(2) 前回から課題として取り組んでいる事項

- ・ 経営戦略・経営計画につき収益力・資本効率等を意識した十分な審議の実施
- ・ 中核人材の多様性の確保の考え方などについての適切な議論
- ・ グループ全体の内部統制システムの構築および運用状況の十分な監督

経営戦略および経営計画については、収益力や資本効率等を意識し、中期経営計画の策定を含め、定期的に取り締役に於いて十分な審議を行ってまいりました。

中核人材の多様性確保に関する考え方については、年間スケジュールを設定することで、取締役会における議論の機会を確保するとともに、モニタリング機能の強化を図りました。また、取締役会は、監査部よりグループ会社を含む内部統制に関する定期的な報告を受け、その構築および運用状況について監督・監視を行うとともに、必要な是正・改善措置等について議論を行ってまいりました。

3. 当期の取組みについて

次の三点を主な改善すべき点とし、取締役会で次のとおり取り組んでまいります。

- ・ 人材戦略の適切な監督
- ・ 内部統制システムの構築および運用状況の十分な監督
- ・ CEO 等の後継者計画の策定・運用への主体的な関与

これらの課題を踏まえ、取締役会における審議・監督の実効性を高めるため、議題構成および付議基準の見直しに取り組むことといたしました。具体的には、5年後・10年後の成長を見据え、事業戦略、人材戦略およびガバナンスを取締役会の中核議題として位置づけております。また、中期経営計画の進捗状況を継続的にモニタリングするとともに、市場環境の変化を踏まえた戦略討議を深化させてまいります。あわせて、監督機能の強化に向け、人材戦略に関する KPI 等の進捗状況の監督や、子会社管理状況等の報告を取締役会の新たな議題として設定します。これらの情報をもとに課題認識を共有し、必要な是正・改善措置について取締役会において議論を行ってまいります。

以上